

# 平成 30 年度 事業実績報告

## 1 会議の開催

開催日	会議名	協議事項等
平成 30 年 5 月 11 日	第 1 回 書面協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度事業実績報告及び決算について</li> <li>・平成 30 年度事業計画（案）及び予算（案）について</li> <li>・地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について</li> <li>・瑞浪市地域公共交通総合連携計画の評価（案）について</li> </ul>
平成 31 年 1 月 7 日	第 2 回 本会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瑞浪市コミュニティバス運行内容の変更（案）について</li> <li>・瑞浪市デマンド交通運行内容の変更（案）について</li> <li>・瑞浪市地域公共交通総合連携計画の具体的事業の整理について</li> <li>・地域内フィーダー系統確保維持計画事業評価について</li> </ul>

## 2 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請

地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請を行った。昨年度の計画からの主な変更点は、事業の目標値について、デマンド交通の乗合人数の目標値が高すぎて実態と乖離していたため、4 人／便から 2 人／便に変更した。また、市民アンケート調査による「利用しやすい公共交通が整っていると感じる市民の割合」も事業の目標に加えた。

## 3 運行内容の検討

平成 31 年 4 月からの瑞浪市コミュニティバス及びデマンド交通運行内容について検討を行った。コミュニティバスについては、平成 31 年度より日吉中学校、釜戸中学校、瑞陵中学校の 3 校が統合し、瑞浪北中学校が開校することに伴いスクールバスが運行されるため、コミュニティバスの通学対応便の一部を廃止することとした。併せて、式日ダイヤも廃止することとした。また、益見線を、新たに設置する停留所「瑞浪高校前」まで延長し、路線名を学校線に変更することとした。デマンド交通については、地区要望及び利用者アンケートに基づき、乗降ポイントを追加することとした。

## 4 地域内フィーダー系統確保維持改善計画の事業評価

地域内フィーダー系統確保維持改善計画については、毎年、地域公共交通会議において事業評価を行う必要があり、計画の進捗状況について評価を行った。東濃鉄道バス明智線の利用促進のために、町内循環線であるコミュニティバス陶線と明智線との接続についてコミュニティバス時刻表に記載し、PR を図ることとした。

## 5 地域公共交通総合連携計画の具体的事業の整理

平成 26 年度から平成 35 年度までの 10 年間の計画期間としている瑞浪市地域公共交通総合連携計画について、社会環境の変化を踏まえて中間年である平成 30 年度に具体的事業の見直しを行い、31 年度から 35 年度までの事業の整理を行った。デマンド交通を平成 28 年 10 月から導入したことに伴い、「瑞浪市デマンド交通の運行内容見直し」を新たに項目立てし、具体的事業に明示した。また、平成 30 年 1 月から運転免許証自主返納支援制度を創設したことに伴い、「一般市民を対象とした利用促進活動の実施」に高齢者の運転免許証自主返納奨励による公共交通機関の利用促進を加えるなどの変更を行った。